

(仮約)

第3回自衛隊記念日レセプションでの佐藤大使挨拶

本日ここに、ブラジル陸軍・海軍・空軍の将官及び士官、各国大使及び武官をお迎えし、自衛隊創設記念日を祝賀できることを大変嬉しく思います。ご来臨に心より感謝致します。

国際情勢に目を向けると、我々は不確実で不透明な時代を生きています。根深い地域紛争、大量破壊兵器の拡散や国際テロの脅威、海洋や宇宙空間、サイバー空間といった国際公共財に関するリスクが増大し、もはや一国のみの努力で国際社会や自国の安全を確保することができない時代を迎えております。この様な中、我が国はこれまでの平和国家としての歩みを堅持しつつ、国際協調主義に基づく「積極的平和主義」の立場から、国際社会の平和と安定にこれまで以上に貢献していく方針です。

そのためには、自由、民主主義、人権、法の支配といった基本的な価値観を共有するブラジルを始めとする友好国との安全保障・防衛分野での協力促進は極めて重要であります。2014年の安倍総理訪伯時にブラジルとの安保・防衛分野における交流を強化するとの合意以降、在伯大への防衛駐在官の配置、海上自衛隊練習艦隊の寄港、陸上幕僚長の訪伯等を通じ、対話と交流が大きく進展していることを嬉しく思っております。特に、本年3月のエチェゴエン大統領府安全保障室長官の訪日は、安全保障分野の協力を更に進める上で有意義でした。

ブラジルの安全保障・国防関係者の、我が国を取り巻く安全保障環境に対する理解と支持に感謝申し上げるとともに、今後とも日伯両国が協力して国際社会の平和と繁栄に共に貢献していけることを願っています。

本日のレセプションは、山内防衛駐在官にとって最後の公式行事になります。同人は初代の防衛駐在官として献身的に働き、たくさんの成果を上げました。ここにその貢献に敬意を表すると共に、ご列席の皆様をはじめ関係者の方々の協力と支援、友情に感謝します。また、後任の溝田防衛駐在官に対しても同様に宜しく願い致します。

最後に、国際社会の平和と繁栄、日伯友好関係の更なる発展、ご列席の皆様のご健勝を祈念します。

どうもありがとうございました。

(了)